

## 小中学校向けイラスト教材の開発と日本語教育での活用

国立教育政策研究所 小松 幸廣

### はじめに

これまで小中学校用として教科の他、道徳教育、特別活動などについて直ぐに授業で役立つことを願ってイラスト教材の制作を行ってきた。

これまでに制作したイラスト約4千枚は利用方法を付してデータベース化し、公開、提供している。これらイラストを使った授業での評価はわかりやすいと概ね好評である。

小学校国語で行ったイラストを用いた授業研究では、クラスの4分の1ともいわれる学習が遅れがちな児童に対しての支援として有効であることが確かめられた。

本データベースは授業で使うイラストを直接提供する一次情報データベースであり、登録されているイラストはそのまま教材として利用できること、利用方法に関する情報の付加がしてあるなどの特徴を持っている。

作成に当たっては授業経験豊富な指導主事や現場の先生、校長経験者などに依頼し、あったら役立つと思われる教材イラストのアイデアを出してもらった。イラストは教材分析からイラスト原稿の作成、イラスト化、利用情報の付加などの工程を経て構築してきた。多くの教育関係者にこのデータベースの存在を知っていただくとともに、新たな活路としてこれらのイラストが日本語教育にも教材として利用していただければ幸いである。

### 流通している教育用イラストの現状

教育用と銘打っているイラストだけでもインターネット上で検索すると膨大な数にのぼる。提供者はイラスト作家などの個人的なものから、教育センターなどの公的機関と様々である。また、教科書出版社や教育関連会社の多くがイラストを提供している。

インターネット上で提供されているイラストの内容はバラエティに富んでおり、作風や大きさ（解像度等）も様々である。

一方、イラストを利用目的別に見ると学校のホームページ制作用の壁紙、人物や動物のキャラクター、花や文具などのクリップアートが圧倒的な数を占めている。特別な利用意図が見られるものとして学校行事に関わるイラストがある。学校行事は入学式や卒業式、学級のお別れ会などで、この場合も学級通信や学級で立ち上げているホームページ用の素材といった感が強い。実際にこうしたネット上に流通しているイラストを利用している小中学校の先生に聞いてみてもその様な目的での利用が多いとの事である。

これらのことから裏付けられるように、現在インターネット上で提供されているイラストは教科教育や特別活動などの授業で直接使うことのできるものはほとんど見あたらない状況である。

イラスト教材を制作するに当たって我々も当初は「イラスト教材作成支援データベース」と称してイラストを部品化し、提供することで先生方の教材づくりに貢献しようと考えた。この場合のイラスト教材の対象は教科や特別活動などいわゆる授業で使うことを前提としたものである。

ところが、小中学校の先生方にアンケートで実情を調べてみると、そうした教材を制作している時間が持てない。直ぐに使えるものであれば利用したい。という声が圧倒的に多かった。例えば部品としてのイラストがあってもそれを編集してねらいに合った教材を作るには豊富な経験が必要になるというのである。また、イラストを使った教材を制作するには教材のねらいにあった展開や構成が必要となるが、必要な場面構成を考えたりイラスト中に描くアイテムや大きさ配置などイラスト制作に関する経験が求められるのに加えて教育的な専門性も要求される。こうした点を考えれば直ぐ使えるイラスト教材を求める現場先生方の声にもうなずける。

## イラストの制作

この様な状況からイラストは教材のトピックごとに完成した形で提供することが適当であると考えた。

また、提供するイラストは自由に加工・印刷などが出来るように著作権フリーとすることが必要と考えた。このため、本イラストはすべてオリジナルな制作とした。

イラスト制作に当たって教科、特別活動、道徳教育で使っている教科書、指導書、補助教材等を基にイラストがあると教育効果が得られそうな場面を抽出した。抽出に当たっては小中学校の先生方にも参加してもらった。実際にイラスト原稿の作成に当たったのは指導主事、校長経験者など豊富な教職経験者である。

抽出した場面をどのようなイラストにするか、利用方法やイラストの構成枚数、描き込む内容などを検討し、その上でイラスト制作原稿を作ることにした。

[イラスト制作原稿の項目]

イラスト制作原稿の項目と記載内容は次のとおりである。

### ①教科、単元

学校種類と教科名、単元名

### ②タイトル

イラスト教材に付けたタイトルで子どもにも分かる呼称を心がけた。

### ③イラストシーン

どの様なイラストシーンにするのかを文章によって表した。場合によっては絵コンテを入れることにした。

### ④使用アイテム

イラストの中にどの様なアイテムを描くのか、あるいは描いてあるのかを示すためのものである

### ⑤イラスト種類

イラストは授業での利用方法によっていくつかのカテゴリに分類できる。次にカテゴリと教材例を挙げる。

### ○解説・理解補助

制作したイラストの多くは解説・理解補助に属す。教科によって偏りが見られる。特に解説・理解補助が多い教科は理科、技術家庭科などである。

○まとめ 例（アイロンの鉄人・巻物風）

現行の教科書、特に理科や数学などの教科では課題把握や追求は細かく書かれているが、結果を解説したものや結果をまとめた記述は少ない。

○ゲーム（カードゲーム、例 英語、慣用句）

学習に飽きさせない工夫としてのゲーム

○自己評価（児童・生徒用、例 Y/Nで生活の反省）

児童生徒に自己評価させるためのわかりやすい学習カード

○標語提示（例 聴き方あいうえお、避難時の約束おかしも）

学級内や廊下、特別教室などに掲示して標語として使う

○思考のきっかけ（例 個人情報漫画版）：

事例を挙げて問題に気づかせ、この場合どの様に行動すればよいのかを考えさせる

○印刷掲示用途：掛け図、掲示用（ポスター）、紙芝居、フラッシュカード、カードゲーム、説明書、学習カード、型紙等

⑥吹き出し（吹き出しに入れる言葉）

イラスト中の登場人物に解説させる場合に語らせる言葉

⑦解説（イラスト上で表示する解説）

文章での解説や文字での表現が必要な場合に挿入文字・文の指定

⑧教材活用例

学習展開案や利用例、活用アイデア等を記載

作成したイラスト原稿はイラストレータに渡してイラスト化を図り、できあがったものは検査・修正した後データベースに登録する。

データベース登録時にはイラスト原稿に基づいて属性を入力する。ディレクトリ型の登録では教材活用例を PDF ファイル化し、関連イラストと同じフォルダー内に収納する。

### イラストのデータベース化

当初、制作したイラストはキーワード検索型で構築していたが、実際にイラストの制作を進める過程でわかったことは、一つの教材トピックに対して複数のイラストで構成したものがほとんどであること。こうした組になったイラストは一括して利用する機会が多いこと、などから教科単元別にディレクトリを作り、教材トピックごとに取り出せるシステムが教育現場では便利なのがわかった。つまり、必要なイラストをキーワードを入力して検索するやり方はデータベースでは一般的であるが、イラストの場合、実際にどの様なものが描かれているのか分からないので検索キーとして何を選んだら目的にかなったものが出てくるのか見通しが持てないのである。

このようなことから本イラストは検索型とディレクトリ型の両方で提供する事にした。

### イラストの教材活用例

国際交流基金が出した「海外日本語教育機関調査 2006」によれば初等中等教育に日本語教育を取り入れている国は 77 カ国、学習者は約 170 万人との事である。また、注目されるのは 6 割弱が初等中等教育機関の学習者であるという結果だ。さらに日本語への興味

関心の中身については日本語そのものへの興味、日本文化への興味が圧倒的に多い結果が出ている。

加えて、この調査では日本語教育上の問題点として約4割の機関が「適切な教材の不足」をあげている。

これらの調査結果と我々が制作してきたイラスト教材の特徴を考えるといくつかの重なる部分が見えてくる。これを取り上げると次のようになる。

- ①イラスト教材には日本文化と密接に関係するものが多く含まれている→日本文化への興味関心が強い
- ②本イラストは初等中等教育用として制作している→初等中等教育機関の多くが日本語教育を実施している
- ③直ぐに使えるイラストを提供しようとしている→日本語教育における教材不足の現状

この様な点から本イラストが日本語教育にも活用できれば両者のメリットは大きいと考える。

次に、実際にイラスト教材の中かから、学級活動、情報教育、その他について現在提供しているものから幾つかを紹介する。

イラストは階層構造にして収納しており、最下位のディレクトリには A5 サイズ 300dpi の jpg 形式で保存したイラストファイルとイラスト利用に関する説明文 PDF ファイルが入っている。上部のディレクトリからはイラストをサムネイルで表示することで収納されているイラストのイメージが閲覧出来る。

### 教材イラスト

ここで紹介するのは主に小中学校用です。アイコンをクリックすると教材ごとの内容が表示されます。 [ホームページはここから](#)

	学級活動 (安全教育など)		情報教育 (マンダラ構造的ネットワーク)
	国語 (物語の補助や読みのための)		社会 (歴史に登場する人物中心)
	算数 (統計教育のグラフや図表)		理科 (空気、水)
	体育 (簡単なリコーダ練習性や音楽鑑賞)		芸術 (絵画、遊び箱、セッサー、なわとび、風船)
	社会科 (社会科、工作、作業の安全)		音楽 (知れたがもの、ミンソンの歌、かな)
	英語 (国際理解のフラッシュカードとして)		演劇用
	イラスト 題材のイメージはいかがですか?		イラストの利用方法

左：教材イラストの教科別表示トップページ（教科別ディレクトリの最上部）

\*イラストはA5版で制作してあります。拡大印刷したり、パワーポイント等に取り込んでお使い下さい。Windows付属のペイントで加工も出来ます。

## 学級活動（基本的生活習慣）

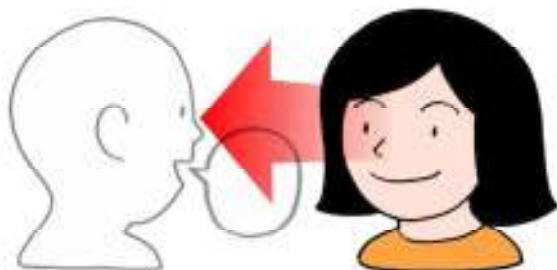
	基本的生活習慣1		五感をつかおう
	聴き方(あいうえお)		生活の反省(洗面やきがえなど) YES、NOのチェック方式で使えます

学級活動 「基本的生活習慣」のページ

 <a href="#">j10001511.jpg</a>	 <a href="#">j10001512.jpg</a>	 <a href="#">j10001513.jpg</a>	 <a href="#">j10001514.jpg</a>	 <a href="#">j10001515.jpg</a>	 <a href="#">kikikata.JPG</a>
 <a href="#">kikikata.pdf</a>					

基本的生活習慣の中の「聴き方あいうえお」のサムネイル

### 聞き方あいうえお **あいてをみて**



左：「聴き方あいうえお」中「あいてをみて」のイラスト

サムネイルあるいはファイル名をクリックしてイラストを表示させる

表示したイラストはドラック・アンド・ドロップで PC に取り込むことができる

「学級活動」の中で扱われる「食育」の教材例を紹介する

内閣府で進めている「食育」は食に関する環境の変化や伝統的な食文化を見直す機会を得る目的で行われている。文部科学省もこれを受けて学習指導要領の特別活動で「食育」を取り上げており、小中学校では学級活動や家庭科で扱っている。「食育」は日本の食文化の一端を知ることができる教材といえる。

学級活動の「食育」に関するイラスト

## 学級活動（食育）



日本の食文化の山菜と栄養バランスや食事のマナーについてのチェックをするイラスト



日本の食文化の一つとして山菜をあつかったイラスト

学級活動2 食育 ●● 日本食文化 春の野草5



上イラスト：左から、つくし、ゼンマイ、ふきのとう、ワラビ、ヨモギ

左イラスト：ヨモギとよもぎ餅（草餅）







上イラスト：食事のマナーや栄養バランス、衛生意識を考えさせるための自己評価カード



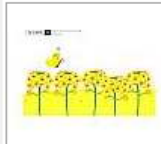
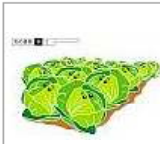










左イラスト：好き嫌い無く何でも食べましたか？（栄養バランスを考えた食事）の例  
自己評価カードとして配布し、栄養バランスや正しい食習慣を考えさせるのに用いる

家庭科における「食育 旬の食べ物」のイラスト

	旬の食べ物(はる)		旬の食べ物(なつ)
	旬の食べ物(あき)		旬の食べ物(ふゆ)

上：春、夏、秋、冬の旬の食べ物を示すサムネイル

日本の食卓では季節感が無くなったといわれているが、イラストによって季節の食べもの確かめるとともに、栽培されている状態を知るために使う。

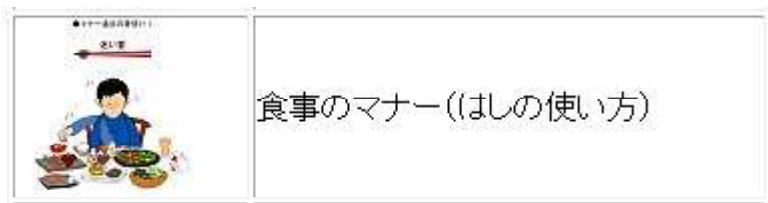
 <a href="#">k10000011.jpg</a>	 <a href="#">k10000012.jpg</a>	 <a href="#">k10000013.jpg</a>	 <a href="#">k10000014.jpg</a>	 <a href="#">k10000015.jpg</a>	 <a href="#">k10000016.jpg</a>
 <a href="#">k10000017.jpg</a>	 <a href="#">k10000018.jpg</a>	 <a href="#">k10000019.jpg</a>	 <a href="#">k1000001a.jpg</a>	 <a href="#">k1000001b.jpg</a>	 <a href="#">k1000001c.jpg</a>

上イラスト：旬の食べ物「春」の例



左イラスト：春の旬の野菜、タケノコ。タケノコに目は漫画的表現だが小学生が親しみやすいイラストが欲しいとする教師の希望を実現する形でこの様な表現になった。

### 家庭科における「食事のマナー」のイラスト



家庭で箸の使い方を教えることは希有になったといわれている。若い世代の学校の先生ですら箸に関するマナーは知らないのが現状のようだ。正しい箸の使い方は「食育」で日本文化の一つとして教えていく必要があるようだ。

「食育」のイラストが入っているディレクトリにたどり着くまでの手順と、その中身である「食育」のイラストの一例を示したが、この他に国語では日本の昔話や日本人の暮らしについて、各地に伝わる祭りの様子、短歌や俳句など日本の文化に関係した内容も数多くあつまっている。

また、国語の指導要領では一部しかあつかわれていない慣用句については国語とは別立てで「慣用句」のディレクトリを作り収納した。「慣用句」はゲーム的な学習展開が出来ることから小学校の先生方に人気が高い教材である。比較的使われることの多い慣用句を日本語慣用句辞典（東京堂出版）、故事ことわざ・慣用句辞典（三省堂）から約 120 件を選び、イラストを制作した。





●マナー違反の箸使い1

迷い箸



上イラスト：マナー違反の箸の使い方 1～11

左イラスト：マナー違反の箸の使い方「迷い箸」のイラスト

おわりに

日本の学習指導要領に基づいた小学校用の教科や特別活動などのイラストを羅列する形になったが、私自身、このデータベースを作っていて感じたことは、日常ではともすると忘れがちな日本文化の一端が見えてくるようなトピックにハッとさせられた事である。春や秋には野の草を摘まされた上に、それで作った子どもの口には決してうま味はない七草がゆを母親に食べさせられた思いなどで、今思えばそのようにして日本の食文化は伝えられ、身近な自然を味わっていたのだと思う次第です。

日本の学校教材として作ったものの中には日本文化を扱ったものが多いので日本語教育に活用できるのではないかと短絡的に考えてこの様な提案をした次第ですが、教材はその学習目的に沿って作られるものという前提からすればの外れな教材になってしまうかもしれません。学習効果の追求よりも学習者とのコミュニケーションの手段として気軽に使っていただくというのも大いに歓迎いたします。果たして日本語教育で使えるものかどうか日本語教育の専門家の先生方に判断はゆだねたいと思います。



慣用句：動物に関する慣用句 ネコの手も借りたい



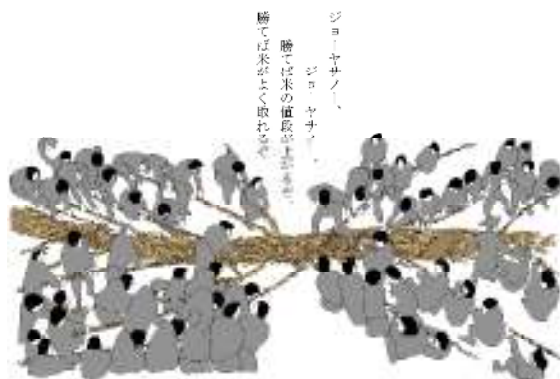
小学国語 4 年：ごんぎつね



音楽鑑賞用：椰子の実



小学国語 5 年：短歌と俳句を味わおう



小学国語 3 年：つなひきのお祭り

### 参考資料

イラスト教材データベース：<http://202.23.86.77/kyouzai/>

CASTELJ 日本語教育用イラスト：<http://202.23.86.77/castelj2/>

小松・松田：「教材用イラストの制作とデータベース化」, 日本科学教育学会年会論文集, 2007.8